



発行所：ライオンズクラブ国際協会333-C地区  
 発行人：地区ガバナー L.霜礼次郎  
 発行責任者：地区PR・情報委員長L.河川邦男  
 〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-55シーオービル6F  
 TEL.043-243-2528 FAX.043-247-4756  
<http://www.lionsclub333c.org>



霜ガバナー運営方針

オンリーワン・ナンバーワン、  
 奉仕の心は日本から

**特集** 45th OSEAL Forum  
 マレーシア・ペナン市  
**J.ロス国際会長公式訪問**  
 330-333複合地区・横浜市



**CONTENTS**

【特集】45th OSEAL FORUM	2~4
ロス国際会長公式訪問(横浜)	4
キャビネット行事	
第2回キャビネット会議報告	5~7
ガバナー公式訪問報告	8~9
アイバンク・フェスタ2006	10~11
献血推進研究会	12~14
C地区キャビネット情報板	24
クラブ運営を考える合同自主勉強会	16
次世代2世でクラブ結成を	27
クラブ・レポート	9・17~29
霜礼次郎ガバナーと火縄銃	30
元地区ガバナー思い出を語る	31



# フォーラム開幕 マレーシア・ペナン島で開かれる

ALAYSIA NOV. 2ND-6TH 2006

昨年仙台市に次いで開催された第45回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラムは、11月3日から6日までの4日間、「目的」、「情熱」、「プライド」のフォーラムテーマを掲げ、「東洋の真珠」とも言われるマレーシアのペナン島「インターナショナル・スポーツ・アリーナ」に、アジア17か国から5000人を超えるライオンズマンが集って開かれ、親交を深めながら話し合い、今後のライオンズの発展を誓い合った。

フォーラム会場となったペナン島は、別名「インド洋のエメラルド」とも呼ばれ、美しくきらめく海にエキゾティシズムが漂うマレーシアを代表するビーチリゾート地。マレー半島の北西沿

岸に位置し、年間を通じ高温多湿で、11月と言っても太陽は日本の真夏のように眩しい。

開会式会場のスポーツ・アリーナは、収容人数1万人の近代設備を整えたスポーツ施設。開会式に先立ち、様々な現地の食文化が楽しめるフード・フェスティバルや、特産の工芸品などを紹介するバザールの出店がオープンしてにぎわった。また正面玄関前では獅子舞などが舞い、会場ステージでは、国際文化ショーの民族舞踊が繰り広げられ、ショーを演出する花火や噴射で舞う紙吹雪などに、参加者は式典前からにぎやかな祭りを楽しんだ。

## ●開会式●

4日午後3時開会の開会式は、開会前の祭りの熱気がそのまま流れ込んだ雰囲気の中でスタートを切った。ジミー・ロス国際会長を始め、複合地区議長や霜333C地区ガバナーら全大会参加者らは大声援で迎えた。ガバナー、国際役員らの入場を、会場の大会参加者らは大声援で迎えた。ステージは、着席した国際役員らで埋まった。間もなく開会宣言した後、ロス国際会長ら居並ぶ国際役員が代わるがわるあいさつを述べた。

11月4、5日の朝は「協議会議長と地区ガバナーの会議」からスタート、本部ホテルに全地域の協議会議長と地区ガバナーが一堂に会し、国際会長ら執行役員と現職国際理事との会議を持ったが、今回のペナン・フォーラムは協議会議長と、地区ガバナーを主役とするため、元国際理事はアドバイザーを担当した。

ライオンズの発展、C。U促進

進を目指す意志発表、人道的奉仕活動でノーベル賞受賞を目指すこと。また開会式の反省点などについて協議した。国際会長との懇談では、地区ガバナー全員が担当地区の会員増強、エクステンションの目標を発表。ロス会長から激励の言葉が贈られた。来年のフォーラム開催地は正式に韓国・大邱に決まった。





**45th OSEAL FORUM**  
PENANG, MALAYSIA  
Nov. 2nd - 6th 2006

• PURPOSE • PASSION • PRIDE •

# 第45回東洋・東南アジア・ライオンズ

45th OSEAL FORUM PENANG

## ● 複合地区夕食会 ●

4日午後7時からペナン市内、シャングリララサヤンリゾート・バンケットルームで開催された333複合地区夕食会には、およそ200人が出席して開かれた。来年シカゴ国際大会に向け国際理事に選出する予定の元C地区ガバナー、後藤隆一・国際理事候補者の当選を



期するため、わば激励会。元地区ガバナーの木下務・複合地区国際大会委員長、岡野正義・地区国際理事候補者支援委員長ら先輩、霜礼次郎・C地区ガバナーらが次々に登壇、激励の言葉を贈った。

## ● 日本レセプション ●

続く5日午後6時からペナン・シティホテルで開かれた、ジャパンレセプションには、日本全国から参加したライオンおよそ800人。ジミー・ロス国際会長のほか、日本所属の国際協会理事ら全役員も参加、後藤・国際理事候補と一緒に国際理事選に大阪府の335-B地区から出る重松良次（茨木LC所属）の2人の、これも国際理事当選を目指す応援激励会。会場は記念の写真撮りで熱気が最高潮、ロス会長は終始カウボーイの帽子でサービスしていた。



## ● 閉会式 ●

1月6日午前9時から、ペナン市内シティ・ベイビュー・ホテルで開催されたフォーラム閉会式で、第45回OSEALフォーラムの日程は全て終了した。

この日もペナンには太陽がさんざんと降り注いだ。会場は500人を超える参加で120%の入り。4日間にわたったフォーラムで生まれた団結心も感じられる熱気の中、ジェフリー・クワ・フォーラム委員長により開会のゴングが鳴らされた。

まず今回のフォーラムで行われた会議やセミナーの骨子が紹介された後、決議委員会で討議された最終決定事項が報告された。この中で2007年にシカゴで開催される国際大会で、国際第2副会長候補としてドイツのエバーハルト・ヴィルフス元国際理



事を推薦すること、2007〜09年度のOSEAL地域から選出の国際理事は後藤隆一・元333-C地区ガバナー、重松良次・元335複合地区議長の両氏とすることが発表された。また次回OSEALフォーラムは2007年10月12〜15日に韓国・大邱開催が告げられると、揃いの黄色のベストを着た韓国代表団からひととき大きな歓声が上がった。

要人らのスピーチが変わるごとく、クア委員長がユーモアたっぷり「ぜひ短いスピーチを」と促し、期待に込められたスピーチには、会場から惜しめない拍手が送られた。ロス国際会長はトレードマークのカウボーイ・ハットをかぶり、マイクを握って壇上を行き来しながら、大会参加者一人ひとりと視線を合わせるように、「会員とクラブが協会を支えている。世界が私たちを必要としている今、自分た

事





### ペナンの休日



こう」と力強く語りかけた。ペナン・フォーラム登録者は5700人、このうち日本人が2000人を占めた。最後に「ペナンは終わりましたが、新たなスタートでもあります」と告げ、全員立ち上がり大邸フォーラムの成功を祈って4日間の幕が降ろされた。

ちに何ができるのかを真剣に考え、100%の力を發揮して素晴らしい未来を築

## ロス国際会長公式訪問 横浜で歓迎晩餐会



ライオンズクラブ国際協会のジミー・M・ロス国際会長がヴェルダ・ロス令夫人と共に来日、9月7日横浜市の横浜ロイヤルパークホテルで開催された3301A(東京)、同1B(神奈川・山梨・東京)、同1C(埼玉)、3311A(北海道・道央)、同1B(同・道北・道東)、同1C(同・道南)、さらに3321A(青森)、同1B(岩手)、同1C(宮城)、同1D(福島)、同1E(山形)、同1F(秋田)、また3331A(新潟)、同1B(茨城・栃木)、同1C(千葉)、同1D(群馬)の16複合地区の公式訪問と歓迎晩餐会に臨み、改めて「ウィ・サーブ、われわれは奉仕する」を強調した。

訪問先のドイツから日本人りし、1週間の滞在期間中に常陸宮正仁親王殿下と、同妃殿下を表敬訪問し、各地の訪問先で県知事や市長とも懇談した。

横浜ロイヤルパークホテルでは、霜ガバナールC地区参加者29人を含む複合地区一体の

参加者430人のライオンと親しく交流した。トレードマークのカウボーイハット姿のロス会長は、日本ライオンズの指導力と貢献度を高く評価した上で、地区のニーズに合ったエクステンション、会員増強を求めた。

ロス会長がテーマを「ウィ・サーブ」に込めた思いについても語った。「われわれが何者であるか、何を成すべきかという原点に立ち、それを再認識するための1つの方策としてテーマを選んだ」。そして「長年掲げてきたこのテーマの下、皆さん自身に、自分たちは何をすべきかを見据えていただきたいのです」と語り、今期を「クラブ刷新」の年にして欲しいと語った。



## 第2回キャビネット会議開く

# 次期地区ガバナー・副ガバナー推薦を承認

## 原案通り9議案を全会一致

第2回キャビネット会議は11月19日、千葉市のホテルグリーンタワー千葉で開かれ、開会行事に続く霜礼次郎・地区ガバナーはいさつ頭の冒頭、先にマレーシア・ペナン島で開かれた第45回東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラムに参加した多くの人たちの労をねぎらった。そして14日間続いたガバナー公式訪問の各クラブに感謝し、退会防止は並大抵ではないがなお一層の努力をお願いしたい。そして来年4月29日の年



第2回キャビネット会議であいさつする霜ガバナー

次大会は、来年度国際理事候補者として国際協会から推薦があった後藤隆一・元地区ガバナーの壮行会になる。そして花岡委員長の医学的奉仕活動に加えたドクター部会の立ち上げなどについて協力を要請した。この後、薬物乱用防止活動に貢献した岡野正義・元地区ガバナーに厚労省医薬食品局長表彰が伝達されるなど、各LCにアワード(別項)が贈られた。

続いてガバナー提出6件の議案審議。第1号は現副地区ガバナーの小西宗仁(船橋LC)を次年度地区ガバナーに推薦すること。第2号は次年度副地区ガバナーに丸淳一(鴨川LC)を推薦すること。第3号は年次大会議事規則の承認。第4号は次期キャビネット構成員、次期クラブ3役研修会開催。第5号はドクター部会設置要綱制定。第6号はカンボジア青少年ホームステイの件一などで、全会一致承認された。

次に提案された地区委員長提出の3議案①カンボジア国に小学校を建設する資金の一部(1万3000米

ドル)をLCIFに援助し、請することの承認②千葉県アイバンク協会への支援要請③シカゴ国際大会代議員と一般会員参加のための、参加費クラブ支援の次年度予算措置配慮など、すべて承認された。

キャビネット会議散会の後は、会場を模様替えして引き続き「EXTと会員増強」について、MERLチーム・RC・キャビネット構成員フリー

## アワード



表彰を受けた岡野元ガバナー

参加による意見交換と、EXTなど具現化について小西宗仁副地区ガバナー・地区MERL委員会委員長を中心に約2時間話し合った。一緒に参加した霜ガバナー体制になって5か月過ぎ、今期の重点施策は何といてもEXTと会員増強。参加した約40人は、具現化への努力など近況について熱心に発言、互いに成功への手法を求め討議が続いた。

▽6人同(4クラブ) 市原南、松戸中央、富里、銚子ローヤル。

▽2人同(19クラブ) 銚子、上総一宮、木更津金鈴、大栄、東金、八千代、船橋京葉、大網白里、白子、山武、関宿、八千代東、八街グリーン、千葉幕張メッセ、松戸南、白井、船橋さざんか、成田ユアレポート、四街道中央。

◇'05'06年度会長優秀賞(クラブ幹事100%) 多数のクラブが受賞。

◇'05'06年度レオクラブ優秀賞 銚子中央。

◇'06'07年度献眼登録アワード 安西よしひろ(鴨川(9R・2Z))、鶴谷明久(同・同)、吉田桂香(行徳(1R・2Z))。

◇EXTアワード(国際協会) 谷島重夫、関口傳治(行徳リバーサイド(1R・2Z))  
◇'05'06年度会長ダイヤモンド、チャレンジ、アワード  
▽10人以上会員純増LC(3クラブ) 君津、流山、銚子ウエストポート。

## 一般会計予算書 (2006.7.1~2007.6.30)

収入の部

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	前年度決算額	科目	本年度予算額	前年度予算額	前年度決算額
前年度繰越金	12,769,246	14,993,125	14,993,125	ガバナー費	1,000,000	1,000,000	969,155
地区会費	32,310,000	32,400,000	32,956,500	会議費	2,600,000	2,600,000	2,358,244
雑収入	600,000	600,000	956,188	地区委員会	700,000	700,000	462,780
				贈呈費	2,600,000	2,500,000	3,408,611
				慶弔交際費	800,000	800,000	885,206
				研修費	1,200,000	1,200,000	1,302,336
				結成助成費	3,000,000	-	-
				広報費	5,000,000	5,000,000	3,931,385
				旅費交通費	1,200,000	1,200,000	1,028,115
				人件費	8,800,000	8,850,000	8,729,956
				福利厚生費	1,200,000	1,150,000	1,185,489
				通信費	1,150,000	1,200,000	1,132,256
				印刷費	2,200,000	2,200,000	2,210,825
				事務所費	2,100,000	2,100,000	2,009,826
				光熱費	110,000	150,000	107,728
				什器備品費	700,000	700,000	903,460
				リース費	450,000	600,000	412,069
				事務用品費	500,000	600,000	485,381
				IT関連費	50,000	-	205,800
				分担金	450,000	500,000	430,260
				雑費	2,400,000	520,000	481,785
年度収入計	32,910,000	33,000,000	33,912,688	年度支出計	38,210,000	33,570,000	32,640,667
				予備費	7,469,246	14,423,125	3,495,900
				次期繰越金	-	-	12,769,246
収入合計	45,679,246	47,993,125	48,905,813	支出合計	45,679,246	47,993,125	45,409,913

## 青少年育成資金会計予算書 (2006.7.1~2007.6.30)

収入の部

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	前年度決算額	科目	本年度予算額	前年度予算額	前年度決算額
前年度繰越金	8,067,019	7,388,399	7,388,399	青少年育成費	600,000	600,000	385,748
青少年育成資金	7,160,000	7,200,000	7,198,000	青少年弁論大会	500,000	600,000	344,856
雑収入	0	0	0	青少年関係費	1,100,000	1,200,000	730,604
				レオクラブ助成金	1,200,000	1,050,000	1,200,000
				夏期研修会費	600,000	-	-
				春期研修会費	1,200,000	1,500,000	1,609,259
				委員会費	200,000	100,000	24,875
				会員増強PR費	0	250,000	0
				レオクラブ関係費	3,200,000	2,900,000	2,834,134
				派遣生助成金	110,000	500,000	203,580
				オリエンテーション	890,000	1,500,000	1,035,863
				研修助成金	280,000	300,000	231,420
				サマーキャンプ	1,470,000	1,000,000	761,826
				YE・OB会議関係	100,000	50,000	32,100
				委員会費	100,000	100,000	167,220
				国際接待費	0	50,000	0
				報告書等作成費	450,000	400,000	467,250
				YE関係費	3,400,000	3,900,000	2,899,259
				雑費	160,000	200,000	55,383
年度収入計	7,160,000	7,200,000	7,198,000	年度支出計	7,860,000	8,200,000	6,519,380
				予備費	7,367,019	6,388,399	0
				次期繰越金	0	0	8,067,019
収入合計	15,227,019	14,588,399	14,586,399	支出合計	15,227,019	14,588,399	14,586,399

## 年次大会会計予算書 (2006.7.1~2007.6.30)

収入の部

支出の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	前年度決算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額	前年度決算額
前年度繰越金	14,858,783	13,714,722	13,714,722	事務所費	700,000	720,000	429,855
年次大会費	8,520,000	8,760,000	8,788,400	会議費	700,000	700,000	474,995
大会登録料	4,800,000	3,600,000	4,791,000	印刷事務用品費	1,200,000	500,000	1,187,751
登録料LS	90,000	180,000	195,000	通信費	100,000	100,000	80,915
前夜祭登録料	2,000,000	1,400,000	1,435,000	旅費交通費	100,000	100,000	55,360
雑収入	100,000	80,000	187,55	アワード費	2,000,000	2,000,000	2,000,966
				広告宣伝費	900,000	300,000	0
				交際接待費	50,000	50,000	0
				フォーラム費	100,000	100,000	70,000
				雑費	50,000	50,000	67,001
				総務関係費計	5,900,000	4,620,000	4,366,843
				記録部会費	250,000	100,000	19,568
				登録受付救護費	100,000	100,000	136,140
				前夜祭費	2,100,000	1,400,000	1,921,045
				式典会場費	5,950,000	5,000,000	4,530,1
				食料飲料費	2,000,000	2,000,000	2,184,126
				アトラクション	1,000,000	1,000,000	478,290
				交通部会費	300,000	100,000	150,000
				案内接待費	0	100,000	0
				雑費	100,000	100,000	166,503
				運営費計	11,800,000	9,900,000	9,586,050
年度収入計	15,510,000	14,020,000	15,396,954	年度支出額	17,700,000	14,520,000	13,952,893
				予備費	12,668,783	13,214,722	300,000
				次期繰越金			14,858,783
収入合計	30,368,783	27,734,722	29,111,676	支出合計	30,368,783	27,734,722	29,111,676

## 特別会計中間報告 (2006.9.30現在)

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	差引残高	備 考
繰越金	1,502,493		1,502,493	前期からの繰越
キャビネット 構成員等研修会	1,070,000	1,056,267	13,733	登録料 10,000円(欠席者5,000円) 登録数 97名(欠席20名)
クラブ三役研修会	2,352,000	2,015,072	336,928	登録料 1クラブ 18,000円 LEO その他 3,000円 登録数 128クラブ LEO その他 16名
合 計	4,924,493	3,071,339	1,853,154	

### キャビネット活動日誌

(YE、LEO その他の委員会活動で記載していないものもあります。)

7/17(月) 第1回RC.ZC合同会議 オークラ千葉ホテル  
23(日) 第1回キャビネット会議 ホテルグリーンタワー千葉  
27(木) CSF II 研修会 145名参加 オークラ千葉ホテル  
8/ 5(土)~ 6(日) LEO夏期研修 銚子市  
8/ 7(月)~10(木) YEサマーキャンプ 柏市  
8/19(土) 薬物乱用防止教育指導者養成講座  
登録料3,000円 124名参加 千葉県経営者会館  
8/31(木) 地区EXT委員会推進説明会 千葉県労働者福祉センター  
9/ 2(土)~10/29(日) ガバナー公式訪問例会 各Z,R単位  
9/ 7(木) ジミー・ロス国際会長330~333複合地区公式訪問  
霜ガバナー以下20名参加横浜市ロイヤルパークホテル

9/14(木) 献血推進研修会 136名参加ホテルスプリングス幕張  
25(月) 年次大会第1回実行委員会 ホテルニューオオタニ幕張  
10/ 9(祝) 献血推進研修会、アイバンクフェスタ2006  
132名参加 JR千葉駅ビル ペリエ6F  
10/11(水) 330~333複合地区LCIFセミナー  
霜地区ガバナー以下13名参加  
横浜市ロイヤルパークホテル  
10/20(金) MERL委員会、RC合同会議 CAB事務所会議室  
11/ 3(金)~6(月) 第45回OSEALフォーラム  
マレーシア・ペナン島  
11/13(月) 333-C地区親睦ゴルフ大会 袖ヶ浦CC・新袖コース  
11/19(日) 第2回キャビネット会議 ホテルグリーンタワー千葉

# ガバナーの顔見せ 公式訪問精力的に終わる

## 県内14か所でクラスと懇談

地区の全メンバーとガバナーが直接対話する「ガバナー公式訪問例会」は、9月2日の「日本閣南柏」における2R・2Zを皮切りに、霜礼次郎ガバナーは高橋輝男・キャビネット幹事ら内局員共々、最終の10月29日「館山・夕日海岸ホテル」での9R・2Zの公式例会訪問終了まで14日間に渡って精力的に行われた。

霜ガバナーは何処の会場でも和やかに「顔見せ興業的」に、トレードマークの「火縄銃古武士」に、ロス国際会長を受けたカウボーイ・ハット姿で登壇、会場の緊張感を和らげ、各会員と直接腹藏のない対話の中で率直に意見を聴き、会員増強・新クラブ結成など地区ライオンズの基本的考えを述べていた。

### 5Rは3つのゾーン合同

千葉市・みやざき倶楽部で

第5R3つのZが一緒の初めてのガバナー公式訪問合同例会が10月28日、千葉市中央区のJFEみやざき

倶楽部を会場に開かれた。公式訪問例会は恒例の19クラブ3役懇談会で、霜礼次郎ガバナーを中心に、各クラブの現況と奉仕の事業活動など各会長から直接聴き、対話の中で地区一体の関係構築にも役立たせようとする



3つのゾーン合同の5R公式訪問例会

れてきた本来の姿があったが、合同の規模が大き過ぎ充分ではなかった感はある。

続いて、会場を移しEXTと、LCIF・CSFIIの分科会が開かれ、高木正平、XT委員長と、高橋輝男・

地区幹事が講師を担当、熱心に意見交換が行われた。

午後5時過ぎに始まった3つのゾーン合同例会は、林彰子・花見川LC会長のゴングで開会宣言、開式行事に続き地区役員とクラブ会長、ブラザークラブの紹介、各あいさつや、報告、記念品の交換などが次々に行われた。この中で霜ガバナーは「努力すれば秘めた可能性が目を開き、ナンバーワンになれる。会員増強・EXTには重ねてお願いしたい」などと、好きになったロス国際会長や来年4月29日幕張メッセ国際会議場における第53回地区年次大会にふれ、「大会は後藤隆一国際理事誕生のための壮行大会でもある」と力説し、スローガンの「オンリーワン・ナンバーワン、奉仕の心は日本から」を繰り返して訴えた。ガバナー歓迎パーティーでは、アトラクションに、ハワイアンバンド演奏とフラダンスが出演して交流会を盛り上げた。

### 2Rは3つのゾーン合同

10月1日・7日・8日成功裏に

第7リジョンのガバナー公式訪問合同例会は、10月1日の第1ゾーン（椎名増行・ZC）を皮切りに、第2

ゾーン（越川浩一・同）が同7日第3ゾーン（鈴木一・同）は同8日にそれぞれ行われ、担当管内は全会員の協調により、成功裏のうちに19クラブ全て終了した。

各会場とも地区から、霜礼次郎ガバナーらキャビネットから大勢の役員を迎え、「オンリーワン・ナンバーワン、奉仕の心は日本から」のテーマを骨格とした地区運営の基本方針を、霜ガバナーからじかに聴き「よし、やろう」とみんな目を輝かせていた。懇親タイムに入り、霜ガバナーは「火縄銃の霜」を本物の銃と古武士の仮装で演出しながら各会員と交流、メンバーは一挙に親近感を深めた。各ゾーンの出席者は第1が111人、第2が123人、第3が159人合わせて393人のよい出席率だった。

### ライオンの森に ガバナー記念の植樹

BRPRR・情報委員（袖ヶ浦）

L 和田綾子

第8R1・2Zのガバナー公式訪問合同例会が10月22日、霜ガバナーをお迎えし、君津市のホテル千成に会員ら103人が出席して開かれまし



た。午前中はライオンズの森に、霜ガバナーによる記念植樹が行われ、新たに植の木が加わり、霜ガバナーの名の入った看板が立てられました。春になると20年前、メンバーによって植えられた桜の下で、大勢の人たちがお花見を楽しみ、とてもにぎやかです。毎年数回の草刈をして管理していますが、これからも皆で大事にしていきたいと思えます。



ライオンの森に記念植樹を終えて

## 10R1・2Zは「宮シーサイドホテル 霜ガバナー火縄銃で演出」

10RPR・情報委員（茂原長生）

佐藤昌巳

晴天に、まれた10月14日、第10R1、2Z内ICクラブのガバナー公式訪問例会がホテル一宮シーサイドオーツカで行われました。来賓に霜ガバナーを迎え、クラブメンバー120人が参加し終了しました。懇親会では霜ガバナーが「退会防止の帽子」を被り、そして火縄銃を持ち、それぞれの会員席を回り、由来の説明をしながらカメラに収まっております。

## RC、ZC訪問例会

下総（6R・1Z）

クラブPR・情報委員

吉江浄善

下総ライオンズクラブ（桜井美恵子・会長）は9月6日、329回目になる例会を、本村佳英・RC、小泉暉朗・ZC、篠塚陽次・PR情報委員の各氏を迎え、下総公民館で訪問例会を開いた。この日は「秋篠宮紀子様男子ご出産」の日だった。

結成14年目で初めて女性会長に就いた桜井会長は、クラブスローガン「やさしい心、愛ある勇気で奉仕、一隅を照らす」を説明した。

キャビネット構成員各氏は、ジミー！



ライオンに囲まれた霜ガバナー

ロス国際会長の重点施策、霜地区ガバナーの基本方針などによる「会員増強、退会防止」、また、クラブ活動などの地区誌「出合い」への送稿などについて話した。

テーマタイムには、9月誕生会員3人に祝いの色紙を贈った。色紙はメンバーで書家の豊口民雄が、名言佳句を揮毫したもので、4年前から続いている。訪問者3氏には龍正院の国宝を図柄にしたバナーとバッチを贈った。このバナーは'93年ソウルの国際大会コンテストで2位に入賞している。

例会最後の大野忠次の5分間スピーチは、会場近くにあった旧高岡藩主陣屋跡について郷土の歴史スピッチがあった。

## 茂原北陵高校で献血

茂原たちばな（10R・1Z）

平沼文三郎

茂原たちばなライオンズクラブ（白井良範会長）は9月28日、茂原北陵高校で献血活動を行った。献血協力者受付は55人だったが、不適合者が出て採血者は44人、採血量1万1400ミリ。昨年度に比べ2000ミリ増加した。献血謝礼は3色蛍光ペン、油性ペンを贈った。この日のPRのため事前に、「愛のかけがえのない献血」のポスターを町内各所に張り出し、「青春時代の記念として健康な貴方の血液を是非社会に役立たせてください」と訴えた。県の献血供給状況は昨年度、僅か3・1%増に留まっているというので、今後もさらに協力を続けていく。



「茂原たちばな」の献血活動

盲人に  
光を

# 『アイバンク・フェスタ2006』 献眼サポーターを認定

## 千葉大学眼科教室が無料健康相談

財団法人千葉県アイバンク協会(理事長、江畑耕作・元地区ガバナー)と、ライオンズクラブ国際協会3331-C地区(霜礼次郎ガバナー)が主催する『アイバンク・フェスタ2006』

が10月9日、千葉市のJ R千葉駅ビル6階のペリエ大ホールとロビーで開かれ、午前中は県内ライオンズクラブ会員134人参加の献眼推進研修会と、アイバンク協会認定サポーター制度による講習会。午後からは一般の人たちおよそ150人が加わって眼病に関する講演を聴き、ロビーで無料で展開された千葉大学眼科教室・千葉県眼科医会スタッフが担当の目の健康

相談や眼圧健診などに長い列が出来た。

冒頭、開会のあいさつに立った霜地区ガバナーは「ライオンズが最も力を入れていているアイバンクは、またライオンズのそのパワーを必要としている」と切り出し、ライオンズクラブがアイバンクと密接の関係にあることを、最近角膜炎を提供して盲目の人に光を与えたライオンズの至近の成功例を紹介しながら、献眼活動への一層の協力を求めた。また地区の柳澤隆善・献眼推進委員長が、「サポーター制度の導入で成果を上げたい。」などと話した。



澤充・日大眼科教授が講演

瞭・元地区ガバナーは「移植を待つ患者は50人近くいて、できる日の

3、4年を待っている。アイバンクは日本に54か所あり、ライオンズクラブ



眼病について講演した山本千葉大教授(右)と若山さん

が資金を拠出する日本の誇れる事業、千葉では千葉大眼科の絶大の協力でできた」と、アイバンク設立の経過を述べ、献眼への協力を訴えた。

続いて日本アイバンク協会認定サポーターの講習会に入り、『サポーターについて』(財)日本アイバンク協会常務理事で日本大学医学部板橋病院長の澤充・眼科教授が、1時間余に渡り終始ビデオを上映しながら、献眼による移植手術の実際など画像でリアルに解説、献眼の手続きから、レシピエントに移植が成功するまでの個人情報保護の法的取り扱いの解釈、そのプロセスなどを分かりやすく解説した。

このあと、受講者代表に澤教授から(財)日本アイバンク協会所敬・理事長の「サポーター講習会受講証」、霜地区ガバナーからは「献眼推進委員依託書」が伝達され、『献眼サポーター』となった講習会受講者のライオンズに改めて大きな拍手が送られた。

昼食休憩を挟んで午後は、一般の人たちが聴講に入って会場は補助椅子を出すまでに埋まった。開講の冒頭、千葉県アイバンク協会の江畑耕作・理事長(元地区ガバナー)は「献眼によって両目は生き続け、盲目の人の闇に光りを与えてくれます」のあいさつに続き、千葉大学眼科の若山美紀・講師による「本当は怖い角膜炎の病気」、千葉大学眼科教授の山本修一・講師の「目を老化から守りましょう」の講演。ともに白内障・緑内障などを中心に、各種眼病などビデオ上映で分かりやすく、目の健康について語った。

講演の後、ロビーで行われた千葉大学眼科教室などによる無料の目の健康相談には、聴講を終えたばかりの100人を超える一般の人たちが、問診、視力検査、眼圧測定、眼底写真撮影などのコーナーに並び、加齢と共に視力が落ちる目の健康法についてアドバイスを受けていた。

# フェスタは大盛会で ライオンサポーターに期待かかる

地区献眼推進委員長・柳澤隆善

柳澤隆善

去る10月9日の「体育の日」、秋の行楽シーズン中にもかかわらず、ライオンズクラブ国際協会333-C地区献眼推進研修会と献眼サポーター講習会、午後の部の『アイバンクフェスタ2006』に各クラブの会長、献眼推進委員、会員、関係各位の方々、

お礼申し上げます。本年度は例年と趣を変え、「日本アイバンク協会サポーター講習会」を設けさせていただきました。講師には(財)日本アイバンク協会常務理事・日

本大学医学部板橋病院長 柳澤隆善 教授との素晴らしい経歴をお持ちの澤先生で、大変充実した講習会となりました。次にサポーターの趣旨について



柳澤隆善委員長

述べさせていただきます。

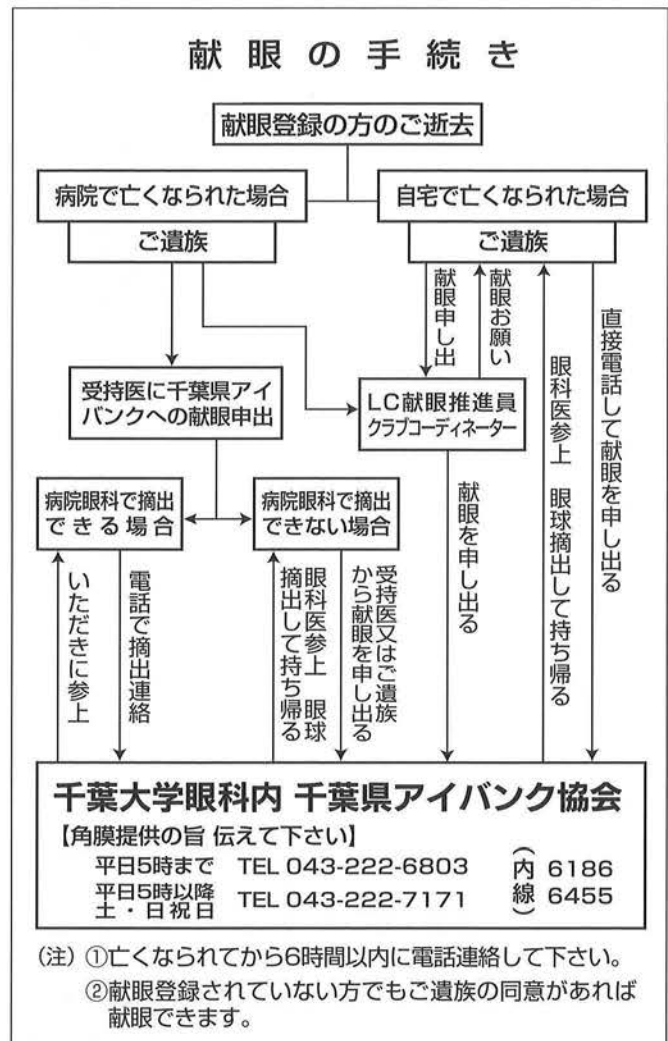
各クラブ会長・献眼推進委員が、角膜移植の普及及び啓発活動を行って

る事を願い、期待するものです。

受講された方々には日本アイバンク協会より後日、認定証が送られます。新たなサポーター制度の導入につきましては、千葉県アイバンク協会・江畑理事長はじめ、理事及び評議員の方々、霜地区ガバナ、キャビネット構成員の皆様及び各ライオンズクラブよりの深いご理解とご協力を得ましたこと、お礼と共に報告申し上げます。

アイバンクは、日本ライオンズクラブの誇るべき事業であります。

アイバンクの運営は、概ねライオンズクラブの寄付を活動資金とし、無駄のないよう軽費の節約・活動の合理化と安定化に努力しております。委員長として今後は、千葉県アイバンク協会と共により充実した組織の活性化を図り、献眼登録者の確保・管理に努めて参ります。また、アイバンク情報を定期的に提供し、運営面での協賛金や協力をお願い、ひいては献眼・角膜移植に繋がるような、愛の架け橋の役目を果たしていきたいと考えています。



いますが、その活動を支える会員の協力が不可欠なのは言うまでもありません。このため角膜移植の普及啓発に関して必要な知識を習得した者を、協会認定サポーターとし、これらの認定サポーターが会長・献眼推進委員を補助し、角膜移植普及啓発活動の一層の推進に貢献され

結びに各クラブの発展と、献眼推進へのご協力よろしくお願い申し上げます。

# ライオンズC地区と、日赤センター共催で 献血推進研究会が幕張で 献血でも「ナンバーワン」と霜カバナー

字血液セ  
ンターに  
よる「血液  
事業の現  
状」解説

第15回ライオンズクラブ国際協会

333-C地区(千葉県)の献血推進研  
究会は9月14日、同地区と県赤十字血  
液センターが主催、千葉市美浜区ひび  
野1の11ホテルスプリングス幕張に、  
県内各ライオンズクラブから150余  
人のライオンズマンが集まって開かれ、  
県内医療機関が必要とする血液の需  
要・供給をいかに保つかなど、県赤十

そして献血現場からは、いかに  
献血協力者を増やすかなど各ラ

イオンズクラブが模索する。作  
戦あれこれの实情報告があつ  
た。しかし今後ますます厳しく  
なる少子・高齢化時代を迎え、  
ライオンズクラブにとつての献  
血活動は永遠のテーマとなり、  
今後活発な活動が期待されてい  
る。

冒頭、あいさつに立った霜礼  
次郎・地区ガバナーは、「献血  
でも組織を挙げ、ナンバーワ  
ンを目指してほしい。崎山樹・  
血液センター所長は「ライオン  
ズクラブでは昨年度、県内献血  
者のうち5万人、12%の協力を  
をいただき感謝している。今後  
さらに支援いただきたい」と  
協力を求めた。

来賓紹介の後議題に入り、  
田中榮作・千葉センター事務  
部長が「血液事業の現状につ  
いて」を資料で解説した。県



第15回献血推進研究会



「目の  
不自由な  
人へ愛の  
光りを」  
をモツ  
トとす  
る献眼活

## 故 橋口一夫ライオン 95歳の献眼者に感謝

千葉県アイバンク協会  
献眼推進委員 宮川カキ

動は、ライオンズに  
とつて最大のアクティ  
ビティの1つであり、  
その主旨を理解され、  
献眼登録や提供いただ  
いた会員も多数おられ  
ることと思います。

当クラブでも会員全  
員が献眼登録をしてお  
りますが、このたび、  
私どものライオンズの  
鏡とも言うべき元ガバ  
ナーの橋口一夫君が永眠された際、生前の  
本人の希望とご遺族の深いご理解により、  
献眼を提供していただきました。

95歳でありました橋口一夫君の献眼は、  
目の不自由な方に愛と希望の光りを授け  
られ、死んでもなお、人の役に立ちたいと  
の熱い奉仕の心に燃えていたライオンズ精  
神は誠に立派であり、敬意を表するとと  
もに、会員の模範とするところと痛感して  
おります。

## アイバンク協会で賛助会員を募集

目の不自由な人たちの、視力を回  
復するための奉仕活動を事業とし  
ている財団法人日本アイバンク協会  
(所敬・理事長)が、個人・法人の賛  
助会員を募集している。

年間会費は個人が50000円、法  
人1030000円。ご案  
内のように同協会は、1人でも  
多くの人が視力を回復する  
ため、'65年4月設立以来、眼  
球提供登録、角膜移植の推進の  
ための普及啓発事業をはじめ  
として、スタッフ・サポーター  
の育成、角膜移植に関する研  
究・教育に対する助成などの  
活動を続けている。

これらの事業を充実させ、  
円骨に運営するためには、財  
政的な基盤の強化が必要な  
ことは言うまでもない。その  
ために同協会の趣旨に理解  
と協力いただき、賛助会員と  
して加入いただきたいとして  
いる。加入者には年4回  
発行する広報誌(MYE BENE  
Journal)、その他の冊子が送  
られる。

問い合わせは、〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町2-12武内  
ビル4F 財団法人日本アイバン  
ク協会事務局

03-32963-6616  
FAX 03-32963-5140へ。

内今年度献血目標は22万2500人、400ミリの11万3100人、200ミリの4万6200人、成分献血6万3200人。また県内献血ルーム6か所にベット66床、4か所が無休体制。移動献血車は県内11台、年間2189回稼働の予定という。

従来献血者に配られていた献血手帳は、10月から献血カードに順次切り替えられて受付をスピード化し、個人の

めに①安 ぶの高い血液確保②季節変動の少ない献血者確保③幅広い献血推進④400ミリの献血、成分献血の推進⑤複数回献血の推進を進めたいと協力を求めた。続いて「躍動ちば21」献血へいこう」のビデオを上映、この中でも進む「少子高齢化」による血液不足を訴えている。



会場を埋めた参加ライオン



橋本英樹県学生献血推進協会長が報告

この後、地区献血推進委員長、小田原隆泰(船橋京葉LC)は、資料を映しながら、県内ライオンズ

クラブの献血活動を直接指揮する立場で率直に協力を求めた。これによると地区献血アクティビティに参加した129クラブの献血量は、961万3000ミリで県内の11・7%をライオンズクラブで確保している。また地区内には献

長の橋本英樹さんが、協議 恒成以来16年目を迎え、会員の増減、役員交代は年々あるが、みな献血に熱心で続いていると報告した。休憩を挟んで献血アクティビティ事例発表は、銚子(宮内博・クラブ保健委員長)、浦安シーサイド(平野民夫・クラブ会長)、船橋京葉(鈴木行正・クラブ青少年育成委員長)から献血活動現場の報告があり、最後に崎山センター所長が「県の献血の現状」について、献血推進体制から輸血治療の実際に至るまでの講演があった。

### 血液の安定供給目指し

## 県全量の15%確保

地区献血推進委員長(船橋京葉)

小田原 隆泰

今年度の地区献血推進委員長を、仰せつかりました小田原隆泰です。献血の推進と献血思想の普及啓発に取り組んでいきますので、宜しくお願いた



協力を呼びかける小田原委員長

県内血液供給体制は千葉県赤十字血液センターと、千葉港赤十字血液センターがあり、年代別輸血は50歳以上が85%を占めている。安全性の高い血液を、安定的に医療機関に供給するた

献血方法別の次回献血可能日、献血受賞がカードに記録され、献血センターの本人確認が瞬時に分かるなどIT化された。

血活動に参加していない複数のクラブがあり、地区として今年度の献血目標を15%まで3・3%引き上げるためにも、実施に踏み切ってもらいたいと話した。まために①千葉県の総献血量の15%に②若者への献血推進・啓発③献血会場の開拓④地元市町村と連携⑤会での献血勉強会一を挙げている。

続いて千葉県学生献血推進協議会会

します。それでは、地区の献血推進についてご説明いたします。

平成15年7月30日に施行された「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に従って献血の安定供給の確保に、貢献したいと思います。そのためには、赤十字と密に連絡を取り、血液が大変不足する時期でのアクティビティを計画したらどうでしょうか。大変有効に安定供給へとつながると思っています。

また、地域にあった献血会場の開拓も重要であり、これを開拓する事により、かなりの成果が期待できるのではないのでしょうか。現在当地区内には、128クラブありますが、そのうち121クラブが献血アクティビティに取り組んでおられ、その実施回数も延べ478回に及んでいます。

各クラブの実施状況や会場は様々であり、駅頭献血、役所献血、学校内、公民館、献血ルームなど多種多様であります。また、採血量におきましては、ライオンズクラブで千葉県の総献血量の11・7%にあたる961,300ccを確保しております。これにより、掛け替えのない多くの尊い生命が救われましたが、より多くの生命を救うため、さらにライオンズクラブでは、県内総献血量の15%の確保を目指してまいります。

また、日本はこれより少子高齢化が進む事により、献血できる人が減少していく事が予想されますが、それに対抗するため若年者の献血参加、献血思想の啓発に力を入れていきたいと考えております。

最後にまとめとして333C地区の献血基本方針を述べさせていただきます。

- ①千葉県は献血量の15%を、ライオンズクラブで確保する。
- ②若年者に献血の重要性を理解させ、参加を呼びかける。

## ライオンズマンの活動に感動 多くの命救った ライオンの献血活動

千葉県赤十字血液センター  
所長 崎山 樹

今年も9月14日、「第15回ライオンズクラブ国際協会333C地区献血推進研究会」が、ホテルスプリングスにて開催され、県内ライオンズクラブから136人の参加をいただきました。

地区ガバナー（霜 礼次郎様）が「オンリーワン・ナンバーワン、奉仕の心は日本から」とのスローガンを掲げ、献血アクティビティにも、より一層のご協力をいただいております。

千葉県赤十字血液センターも開所

- ③地域住民が参加できる、献血会場の開拓をする。
- ④各市町村に設置されている窓口と密に連携し、住民参加型を目指す。
- ⑤各クラブの例会などで、血液センター係員を同席させ、積極的に勉強会等を開き、事情に合った献血方法を相談する。

以上で地区の献血推進についてのご説明を終わりますが、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

して42年が経過しており、333C地区クラブの皆様の献血運動も血液センター開所後間もなく始まり、41年の永きに亘りご支援をいただいております。



崎山 樹 日赤血液センター長

千葉県では昨年度220・302人の献血協力があり、その12%弱がライオンズクラブの皆様の献血推進によるものであり、お陰様で多くの患者さんが救われましたことを、血液事業に携わる者として心からお礼を申し

上げます。

日本赤十字社では、患者さんが安心して輸血療法を受けることができよう、これまで様々な取り組みを続けて参りました。平成16年6月27日から新統一コンピュータシステムを全国レベルで導入し、同年10月1日からは、献血受付時の本人確認を実施しており、本年10月1日からは献血手張のカード化を予定しております。これらは全て安全性向上の取り組みの環境でありますので、ご協力をお願いします。

また、国内自給を基本理念とする血液新法「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づき、血液センターとしても、血液の安定確保と共に、厳密な検査に基づく安全な血液製剤を製造し、医療機関へ迅速かつ適正に供給すべく、一層の努力をいたしているところであります。

献血推進の取り組みとして、ライオンズクラブの皆様を始め、協力団体やボランティアのご理解とご協力により、より多くの県民から献血を受けられると共に、血液事業に対する正しい知識の普及、特に若年層に対する献血思想の普及・啓発に努め、年間を通して献血者の安定的な確保を推進してまいります。

皆様の一層のご理解、支援を

いただきますよう、ここに感謝と共にお願いを申し上げまして挨拶とさせていただきます。

## 第1回 地区MERLチーム 実践強化策で 意見交換

第1回C地区のMERL委員会（委員長、小西宗仁・副地区ガバナー）会議が9月21日、千葉市中央区間屋町の333C地区キャビネット事務局に、小西委員長を始め霜礼次郎ガバナー、高木正平・地区EXT委員長ら7委員が出席して開かれた。



MERL チーム委員会の方針を示す小西委員長

同委員会最大使命の新年度における新クラブ増設、会員増強の強化策

について意見を交わした。まず小西委員長が新年度の目標と実践計画について所信を述べた。予め用意された骨子は▽グループの重要性。増強の弾みをつける、執行部との一体感▽各リジョンの現状把握。活性化への協議、一環した指導力の構築、リジョン内に達成可能な目標の設定▽会員増強に不退転の決意を實踐。

EXTの 嗎、会員の維持向上、指導力の育成(リーダーシップ)ーなどを挙げた。高木委員長は「ライオンを理解させ、一旦入会した会員は止めない様に説得する」など、退会防止の意見があった。次回からのMERL委員会は、毎月各RC10人を含めた合同会議で高率よく推進する。

## 長い道一筋 社会貢献 春秋の叙勲 7Rで4人受章

総武中央・千潟・旭各クラブで

PR情報委員 L加瀬 欽造

長い道一筋、行政や福祉、教育などの分野で貢献した人たちをたたえる今年の春と秋の叙勲で、地区7Rから次のライオン4氏が晴れの榮譽に輝いた。

◇瑞宝双光章(秋) 越川浩一(71)〈総武中央 7R・2Z〉

青少年相談員、総武中央LC入



L 越川 浩一

会、同7代会長、保護司、横芝町議3期12年、同議長、LC4R2Z・ZC、同町教育長3期12年、LC7R2Z・ZC

◇旭日双光章(春) 菅谷喜作(73)〈千



L 菅谷 喜作

潟 7R・3Z

'87年千潟町議初当選、'99年同町長に当選し、2期6年「暮らしやす

さ」を基本理念に、「心と共生の町、活き生きひかた」実現をめざし、町政発展に尽力。

◇瑞宝双光章(春) 向後金治(77)〈旭



L 向後 金治

7R・3Z

'45年教職に就き以来44年間、一貫して学校教育を貫き、学校経営に卓越した手腕を発揮し、教育環境を整備した。'91年旭市助役に就任、8年間行政に貢献。

◇瑞宝単光章(春) 飯嶋誠司(70)〈旭



L 飯嶋 誠司

7R・3Z

'54年旭市消防団に入団、以来33年間に渡り市民生活の安全に尽くし、同消防団副団長となり、消防団組織整備。次世代団員の育成指導にも貢献した。

## 名に恥じぬ活動

船橋グリーン(4R・1Z)

1917年の創設以来、We Serveを合言葉に、200の国、地域で我々の仲間は、奉仕活動を行っている。その活動は、我々の足元はもちろん、グローバルに広がっている。

我が船橋グリーンライオンズクラブは、献血、海老川の清掃、チャリティイベントを定期的に行っている。また、ライオンズクラブは異業種の集団であるため、例会などを通して多方面に亘る情報交換もでき、各々の仕事に生かされる事も大である。

1人ひとりがその基幹となる仕事を精一杯行うことで、We Serveの活動に繋がっていくのである。近年、地球環境の悪化が言われ、その要因の多くは、温暖化というの子どもも知っている。次世代のためにも、我々は環境浄化に、また「船橋グリーンライオンズ」という名前に恥じぬためにも、植栽活動にも力を入れていきたいと思う。我々はあなたの力を必要としている。

# クラブ運営を考えよう 独創性と新鮮さ求めて

## 7Rの20クラブが自主勉強会

楽しい例会運営でライオンズクラブの発展に役立てようと、第7R（伊東諒・RC）、1Z（椎名増行・ZC）、2Z（越川浩一・同）、3Z（鈴木一・同）主催の「例会運営の勉強会」例会を考える」が10月22日、銚子市の銚子プラザホテルに3つのゾーンから、20クラブの3

役ら役員90余人が出席、真剣な中にも楽しい意見交換や事例発表が行われた。

新しいこの企画は新年度に入ったことし7月以降、伊東・RCらのクラブ訪問で20クラブの会員らと親しく交流したが、何処のクラブも共通して「例会運営のマンネリ化」に悩

んでいることが分かった。そこでR・Z担当者が話し合っ

て衆議一決、例会運営の研究企画が進められた。

開会に続いて伊東・RCが「例会を考える」のテーマで基調講演。「あなたのクラブは地元民から、どの様

に見られていますか」、「例会の中身『例会進行・服装・役割分担』について考えよう」と投げかけ、そして「ライオンと呼ばれる人」に近付く有意義な例会を行いたいと語った。それには「善良な生活を楽しみ、人類を愛し、知識人の尊敬を集められる人」、「その地位に相応しく、より良き社会人をもたらし人」、そして「友の美点を常に見守り、自らのよきところをまた友に送る」ことではなくてはならないと思うと理想のライオンズマンのあるべき姿の論理を展開、それによって『彼・彼女こそライオンと呼ばれる人』であると、言えなくはないでしょうかと結んだ。

続いて事例発表では銚子中央LC



7Rの3つのゾーンが一堂に、クラブ運営の勉強会

の「がまの油」の紹介、大衆同では時には落語家を呼んで和やかに、互いにいやな思いをしない例会に。干潟同もアイディア生かした例会運営に取り組んでいる。

模擬TTタイムでは漁業の街らしく、魚類の名の数当てクイズ、ビール銘柄当てなどの即興ゲームが次々に披露され、会場は至って和やかなムードになった。最後はゲストに招

### 私見で語るライオンズ

自主勉強会で基調講演

7R・RC(旭)  
L伊東 諒

10月22日、7R内ゾーン合同で開催の「例会運営の勉強会」に基調講演を依頼された。その任は重すぎると思いつつも、その場の雰囲気から推されてしまった。

本来の目的は「楽しい例会作り」であった。幾つかの実例を参考に話し始めたのだが、レジュメに「あなたのクラブは、地元の人々からどのように見られていますか」とあり、各クラブ員は真剣に私の話に耳を傾けてくれた。

私の話も、次第にライオンズクラブの本質論に踏み込んでいった。

いた地区PR・情報委員長の両川邦男が「例会は限られた時間の中で楽しくやろう」という事なので、各クラブ独自のアイディアを凝らし、ちゃんと決めることは節度を持って決め、終始和やかでありたい」と講評、懇親会で楽しく交流、ライオンズの発展を誓い合った。

地区・PR情報委員長 両川邦男  
〈市原コスモスⅡ5R・3Z〉



例会運営の基調講演する伊東 諒 RC

考え方の異なるメンバーからお叱りを受けるかも知れないが、本誌に寄稿してはとの誘いがあり、その1部を述べて見たい。

さて、あなたのクラブでは、で始まる文言は挑発的の問いかけだったのか、各クラブの受け止め方に様々



の表情があった。若しかすると会員の減少に悩み、クラブの発展どころか維持することにも自信を無くすくらい、深刻な現状を指摘されたと感じたのかもしれない。

私としては、ライオンズ用語を多用して行う例会などを見聞きした人々から、自分たちと違う人種の集まりと思われてはいないだろうか、と問いかけた積りだった。

ライオンズクラブが掲げる崇高な目的を見据えての事だが、アメリカで生まれ日本に渡って半世紀、そろそろ日本人のDNAを組み込んだライオンズクラブを考えてもよいのではないか。

大袈裟なことではなく、些細な例



模擬 TT タイムでビールの銘柄あてに挑戦

を二つ<sup>※</sup>。と、私たちはお互いに「ライオン」を付けて呼び合う。真面目な顔で呼び合う姿を一般の人々から見れば奇異に感じてはいないだろうか。ある種の違和感を持たれてい

るだろう事は、容易に想像できる。また多くのクラブは、「また会う日まで」のとき、全員が手を繋いで合唱しているが、握手の習慣のない日本人から、「いい年をした人たちが」と思われても仕方がない。

だからといって私は、これら全部を否定しようとは思わない。ライオンズクラブが年次大会など正式行事を行うとき、ライオンの呼称を使うのは伝統を現す儀式的表現として大事にすべきと思う。手を繋ぐ事も然り。酒席を伴う懇親例会などの締めとしては最良の別れ方と言える。つまりは、いままで意識せず続けてきたライオンズ用語の使い方を見直し、場に相応しい使い分けしたらどうかと言いたい。

終わりに、草創期のライオンズクラブは、親睦と奉仕のバランスを取りながら運営してきた。バブル崩壊後の現象なのか、昨今は極端に奉仕だけに焦点を絞った運営のクラブが出てきているようだ。

ウイ・サーブの中にアサーブが混じり始めたと心配するのは、深読みのし過ぎだろうか。

新会員の招聘については、善良な市民生活を営み、協調性のある人を引き入れ、クラブライフを楽しみながらライオンズクラブの目的を学んでもらえば、やがては率先して奉仕活動に汗を流すメンバーに変身することが容易に想像できる。あなたのクラブにそのような雰囲気があれば、明日の発展が約束される。

### ガバナー主催で袖ヶ浦・新袖コース 親睦・親善ゴルフを楽しむ L 岩井正一(印西)が制覇

333-C地区霜礼次郎ガバナー主催の親睦・親善ゴルフ大会(吉川敏男・地区総務委員長担当)が11月13日、天高快晴のゴルフ日和に恵まれ、歴史とトーナメント舞台の林間コースとして知られる、千葉市緑区の袖ヶ浦カントリークラブ新袖コースに、県内各クラブからライオン130人が参加して開かれた。

午前8時の始球式にはOUTが霜礼次郎・ガバナーと岡野正義・元ガバナー、INは元ガバナー同士の

斉藤貞雄、林静誠の各氏で一斉にスタートした。午後は小林法子・浦口ら女子プロ3人によるアプローチレッスンの指導があった。

大会競技は順調に進み、予定通り同4時過ぎにはパーティ、成績発表が行われ、岩井正一(印西)3R・1Z)がクロス72、ネット70・8で優勝、準優勝は、松浦安彦(四街道)6R・2Z)、3位は岩崎和徳(成田)6R・1Z)で、それぞれに霜ガバナーから優勝カップなどが贈られ、3氏に盛大な拍手が送られた。また、以下130位まで順位入り大会参加の「寛容の精神の涵養に務めた」という内容の寛容賞の証明書が全員に贈られた。



初のゴルフ大会運営の内局員ら

# 私の南米体験記 (続)

5R・1ZC・ZC

林

悠ひさし (千葉花見川)

ラグアイの首都アス

訪問地の一つ、パ

約束を果たすことに  
あつた。  
訪問地の一つ、パ  
ラグアイの首都アス  
シオン市は、千葉市の姉妹都市であ  
り、先ごろも提携35周年を記念して  
千葉市が消防車等を寄贈するなど友  
好関係を深めている。今回の訪問に対  
しても、駐日パラグアイ共和国大使館  
の田岡特命全権大使に格別のご配慮  
をいただくなど、両市関係者の期待は  
高かつた。

◇ ◇ ◇

いま、私の胸中は「ひっちゃかめっ  
ちゃか、ではあつたがこんなに楽しく  
て有意義な旅はこれまでになかつた」  
という思いに満ちている。その一方で  
ブラジル滞在中、現地千葉県人会の  
皆様の招きで訪れた、同県人会館での  
体験が思い出されてくる。その建物に  
は屋根がなく、工用シートが屋根代  
わりで、宴席に饗された食事は懐かし  
い日本食でお持て成しいただいた。

私の目には、皆さんのご苦勞を察  
するには余りあるものがあつたが、誰  
一人として苦勞を嘆くこともなく、そ  
の表情は皆明るかつた。帰国後「ライ  
オンズクラブの一員として、何ができ  
るのか」を自問してみるが、その答え  
はまだ見つかつていない。(完)

## 河川清掃で環境美化

東庄LCメンバー

長谷川康夫

東庄ライオンズクラブ (田汲清夫・

会長)の提唱で15年続く恒例「黒部川・  
柘沼川河畔清掃活動」が、29日行



河川清掃に出動した東庄LCメンバー

われ、各種団体も協力して広大な河  
川敷を見違えるようにきれいにした。  
この地域は、漁業組合が中心になつ  
て利根川、黒部川を漁場として水産  
業が盛で、川魚、しじみなどかなり  
の漁獲高を上げている。川をきれい  
にすることは、これらの産業を守る  
ことに加え、自然環境の美化に大き  
く貢献することになる。

そのために、利根川下流域を管理  
する行政機関と、漁業組合、町役場  
を始め愛釣会、環境美化ボランティア  
ア団体の七花会、一般住民らも協力  
して実施している。

この日も総勢60余人が参加、流れ  
着いた空きかん、ペットボトルなど、  
拾い集めたごみの山は笹川漁港に漁



見地クラブと交流する林5R・1ZCと妻影千葉花見川会長(左から2、4番)

第89回国際大会出席の大任を果た  
した私はその後、ニューヨークで千葉  
市内のボランティアグループ「講談塾」  
の一行と合流し、一路南米に向かつた。  
私にとってこの旅の目的は、今年移  
住70周年を迎えたパラグアイの日系  
市民の皆様に、生の講談を心行くま  
で楽しんでいただくこと。そして花見  
川ライオンズクラブを代表して、医薬  
品やメガネ等の生活必需品贈呈のア  
クティビティを行うこと。さらに一昨  
年ブラジルの皆様と交わした再訪の

ところが当初の計画では、ブラジ  
ルで1回公演した後、直ぐにパラグア  
イへ移動する予定だったが、ブラジル  
の地元紙『サンパウロ新聞』の創刊60  
周年記念行事の一環として追加公演を  
開くことになり、その分パラグアイ滞  
在時間が短くなつてしまつた。もとも  
と7月10日にブラジル入国後、パラ  
グアイ、ボリビア、アルゼンチンを訪  
れ、17日に帰国の途に着くという強  
行軍であり、この予定変更は私にとつ  
て少々心残りの種となつてしまつた。  
さて、アスンシオン市に着いた私  
は、生活必需品の贈呈をはじめ現地ラ  
イオンズクラブ Encarnacion Sub-  
Distrito "MI" Paraguay のメンバ  
ーと交流すなど、充実した時間を過

協の船で集積された。この環境美化活動は、単にごみを拾うことだけではなく、住民の環境保護、美化意識の向上にも役立ち、クラブ員も1日この清掃作業にいい汗を流した。

## 災害救助犬の 防災訓練を披露

船橋中央レオ(4R・1Z)

訓練実行委員長 Leo 八木 宏道

2003～2004年度期から歩み始めた災害救助犬啓発事業が4年目に入った今回は、8月23日船橋市で開かれた防災訓練に参加しました。地域住民を迎えての救助訓練、そして災害救助犬に広く親しみを持っていただける機会にしようと実行委員会を設け、事前に船橋市役所防災課との打ち合わせも行うなど企画を練り上げ臨みました。

今年の防災訓練に挙げられるのは、ダンボールを組み立て「倒壊家屋」に模した幾つもの現場のなから、地域住民が隠れている倒壊家屋を見つけ出し救助、そしてトリアージポイントへの搬送を救助犬・地域住民・消防との連携で行う運びとなりました。「倒壊家屋」作りは、さながら学生時代に

戻った「まみの宿題」成作のようで、メンバー同士で協力し合い、あれこれの試行錯誤でしたが楽しい一時でした。

当日は、千葉県災害救助犬協会を通じて、4頭の災害救助犬とハンドラーの協力のもと、様々な訓練の中で高さ1メートル、全長3メートルの細いあしぼを救助犬が渡って障害物を越え、複数の倒壊家屋から見事に救助者を見つけだした時には、船橋市長をはじめ地域住民の方々からも大きな拍手をいただき、救助犬も鼻高々でした。訓練とはいえ救助者の捜索からトリアージへの搬送という1連の流れのある訓練を、様々な立場の方と協力して行えたことは、



災害救助犬と防災訓練に成功した船橋中央レオの人たち

あつては欲しくないその口を噤める大変よい機会であったと思います。

会場では1日を通して災害救助犬を市民の方に知っていただけるように、手作りのチラシを配ったり、ふれあい広場で災害救助犬との写真を撮り、撮った写真は台紙に張ってその場でプレゼントしました。災害救助犬はどのような人も、捜索・救助しなければなりません。普段から様々な人たちに触れ合うことを訓練している犬たちはとても優しいのです。大きな体のレトリバーを怖がっていた子供たちが傍らに座っても吠えもしません。いつしかふれあい会場は記念写真のフィルムが間に合わない人ばかりになりました。

しかしこの優しい災害救助犬たちを育てることは、とても大変なことです。ハンドラーの方々も普段は全く別の仕事をしている方々なのです。寄付もありますがまだまだ自費での訓練や出勤の日々だそうです。この実情を多くの方に知っていただき、そして彼らが必要とするその時には、被災地へ迅速に赴き1人でも多くの命を救える連携に繋がるような環境を整えてほしいと思います。

会場では1日中、船橋中央レオメン

バーは、各自が持っている知識で市民に「災害救助犬」を訴え、この言葉を耳に残してもらえよう汗をかきました。

## 第53回上総少年野球大会 亀山が悲願の優勝

上総(8R・2Z)

青少年健全育成を目指す、上総ライオンズクラブ主催の『第53回上総少年野球大会』は秋晴れの11月4、5の両日、君津市久留里スポーツ広場で行われた。決勝戦では亀山ジャガーズが、小櫃少年野球クラブを13-4で破り、悲願の18年、36回ぶりの優勝を果たした。

同大会には同クラブ管内の君津市内の亀山ジャガーズ、松丘少年野球クラブ、久留里同、小櫃同、木更津市内の馬来田少年野球クラブ、富岡ファイターズの計6チームが参加。開会式では同クラブの鈴木喜平会長、川嶋章彦審判長のあいさつ、松丘少年野球クラブ主将の田丸淳司君が力強く、選手宣誓した。試合はトーナメント方式で行われ、各試合前には双方の学校の校歌が演奏された。

各試合とも接戦が展開され、応援



18年ぶり優勝した少年野球の亀山ジャガーズ

きた成果だったと思います。」と優勝の喜びを話していた。

大会の運営は同クラブで行い、試合中の選手紹介などの放送、試合の合間にはクラブ会員がグラウンド整備を行った。審判は小櫃野球連盟に依頼して行い、毎年スムーズに進行している。

ㄥ 齋藤敏夫

ㄥ クラブPR広報編集委員長

## 例会1000回記念で地域に防犯パトロール車3台贈る

上総一宮10R・1C(クラブ会長)

ㄥ 佐貫田 秀敏

席から盛んな声援が飛び交い、大会が盛り上がった。特に決勝戦では優勝から遠ざかっていた亀山ジャガーズは、毎年のように成績が上位の小櫃少年野球クラブに対して、1インニングから攻勢をかけ、終始圧倒して見事に18年ぶりの優勝を果たし優勝旗を手にした。

箕川芳徳監督は「6年生が少ない中、5年生が協力してチーム力が付いてきた久しぶりの優勝ですね」。主将の座間卓也君は、「今日の決勝戦は思い出に残るよい試合だった。優勝できてこれほどの素晴らしい日はない。チーム全員が団結し、練習して

上総一宮ライオンズクラブ(佐貫田秀敏・会長)は65年結成以来、今回の例会開催が1000回目になる節目を記念して、11月7日同町のホテル一宮館で『千回記念例会』を開催。記念事業として一宮、睦沢、長生の3町村に防犯巡回用の軽自動車各1台計3台を贈った。

記念例会には来賓で霜地区ガバナリーを始め、近藤直・一宮町長、御園生正美・睦沢町長、石井俊雄・長生村長のほか、スポンサークラブの茂原ライオンズクラブ、第10R内地区役員ら多数が参加した盛大な記念

例会となった。

今例会メインの記念事業は、子どもたちを犯罪から守るため小中校児童生徒の登・下校時、安全を見守るため特種仕様の青色灯付きパトロールカーの各町村への贈呈。このアクティビティーの拠出金は334万円。『防犯パトロールカー』と、白の車体に鮮やかに描かれ、屋根には防犯車標識の青色灯が付いたスマートな車。既に各町村ごと任務の活動に入っている。同日は霜ガバナリーからライオンメンバーが拍手を送る中、3町村長それぞれに佐貫田会長から車の鍵が渡された。



1000回例会記念に防犯パトカー3台を地域に贈る

## ライオンズ旗の争奪少年サッカー大会開く

袖ヶ浦(8R・1C)

袖ヶ浦ライオンズクラブ(高野隆晃・会長)主催『第12回少年サッカー大会』が11月3日、袖ヶ浦市陸上競



ライオンズ旗争奪少年サッカー優勝チームにメダル

技場で開かれた。

空高く、好天に恵まれた中高野会長は開会式のあいさつの中で、'04年のアテネ五輪水泳金メダリスト紫田亜衣の名言を引用「あわてず、あせらず、あきらめず」と激励、幕を開けた。

競技場フィールド2面に小学1〜4年、5〜6年を5部門に分け、ライオンズ旗争奪の熱戦を繰り広げた。

またグラウンド外部では選手の父母や家族、クラブメンバーらが連携し、450食分の焼きそば、豚汁つくりで大忙しで汗を流し、選手ら大会関係者に配った。この大会がさらに地域に根ざし、問題が多発している青少年の健全育成の一助になることを、期待しながら閉会した。

L 三股 千安（クラブ幹事）

## 市川健康マラソン 江戸土手を走る900人

市川東（R・1Z）

L 中川 勇治

2006年10月15日、爽やかで抜けるような秋晴れの中、涼風を受



市川リバーサイド健康マラソン大会で走るランナー

けて走る「第12回市川リバーサイド健康マラソン大会」が行われました。江戸川土手を走る平坦なコースであり、1キロメートル親子ペアマラソンや、小・中学生の3キロメートル、5キロメートル、高校生から最高齢77歳までの10キロメートルを、900余人のランナーが完走いたしました。

ライオンズ関係の皆様からも、多大なドネイションをいただきました。誠にありがとうございました。また、市川マラソンクラブや、江戸川を守る会市川支部の方々のボランティアに支えられ、成功裏に終わりましたことは、感謝に耐えません。

「夢遺産、健康都市市川」を宣言する市川市にあつて、健康な体や心を保つ取り組みの1つとして、これからも回を重ねていく所存であります。

## 世界平和を願い 成東駅前忠魂碑を清掃

山武（10R・2Z）

L 林 喜一（幹事）

また暑い夏がやって来た。昭和20年8月13日の第2次世界大戦終結の2日前、総武本線成東駅がアメリカ空軍の攻撃により爆破された。その攻撃は異常なほどで、駅職員を含む



成東駅前忠魂碑を清掃して記念写真の山武クラブ

多くの方が犠牲となった。その惨事を今に伝える忠魂碑が駅前にある。今年も恒例の忠魂碑の清掃を行った。

8月1日早朝6時に松井衛会長ら15人が成東駅に集まり、各自が持参した清掃用具などで作業を開始した。毎日何気なく通るこの場所を、今日だけは特別な思いで皆が汗を流しながら、草を刈り石碑を磨いた。途中、駅長より差し入れがあり、また、時間が経つにつれ駅へ向う人が少しずつ増え、「ご苦労様」と声を掛けてくれる人もいた。

作業終了後は、見違えるようにきれいになった忠魂碑の前に献花して終了した。この清掃で集められた雑

草やごみの山は軽トラック2台分になった。忠魂碑は生まれ変わり、その存在感を増した。

成東駅の悲劇を知る人は、時の経過と共にかなり少なくなってきたが、悲惨な戦争のあの日を決して忘れてはならない。永遠の平和への祈りを新たにするために、今後この清掃事業を継続していかなければならないことを会員同士で誓い合い、犠牲者の冥福を祈った。（山武市誕生で旧成東ICを、山武ライオンズクラブに改称した）

## 講師に大野靖之氏招き 学校ライブで道徳教育

千潟（7R・3Z）

L 岩岡 由和

近年は「もの」が豊かになり、「かね」さえ出せば欲望が満たされる時代になった。そしてそんな世相を裏付けるかのように「命」を軽視する若者の事件が後を絶たない。私たち千潟ライオンズクラブ（鎌形隆・会長）は、CN30周年を記念して千潟地区の小・中学校4校の児童・生徒に改めて「命」、「家族」、「友」、「夢」をテーマに、全国の学校ライブで活躍している千葉県道徳講師の大野靖之氏を招き、歌とトークで道徳を学

んでもらった。

9月25日午前中は古城小学校、午後は干潟中学校で実施した。古城小では150人の児童が和やかに心を開き、一緒に歌い「夢」を積極的に



歌とトークで児童に道徳教育する干潟クラブ

語り、生き生きと目を輝かせた姿を見ることができ、学校や父母から大変喜ばれた。

干潟中では生徒223人の視線が講師に注目、熱心に耳を傾け聞き入った。生徒たちにとって感動の1時間ではなかったろうか。同行した関係者からは、生徒たちの話を聴く態度がよかったと誉められ、「よかった」とみんな一緒に繰り返したアクティビティに満足していた。残る中和小

学校と萬歳小学校は来年1月15日に実施する。

## 女の子「豆力士」も参加して わんぱく相撲大会

下総中山(1R・1Z)

L村嶋 幹生(会長)

青少年健全育成事業に取り組み下総中山ライオンズクラブ主催の恒例『わんぱく相撲大会』が7月23日、船橋市立小栗原小学校体育館で開催されました。夏休みに入って最初の日曜日であり、市川・船橋地域の7つの子供会から109人の児童が参加して行われました。まわしを着けた男の子に女の子、運動着の女の子など支度は様々の「豆力士たち」でしたが、子どもながら互いに闘志を



体育館の即席土俵でわんぱく相撲大会

ぶつけ合い、大人が顔負けするほどに気合のかかった場面もあり、一緒に参加した母親たちから盛んな拍手が沸いていました。

当日は1Zの中塚吉明・ZCから第1リジョン内各クラブメンバーの訪問を受け、大変に盛り上がりました。今回迎えた大会で、29年連続開催の歴史のある事業となり、毎年暑い夏休みが近付くと地域の子どもたちは、大会を心待ちし楽しい思い出の1つになっています。

## 新装の土俵で小系相撲大会

君津中央(8R・2Z)

君津ライオンズクラブが後援

君津市小系に「やぐら」付きの土俵が完成、10月14日君津中央ライオンズクラブが後援『小系少年相撲大会』が開かれた。

今年の初め同市の青少年健全育成協議会とPTA役員が話し合っ、相撲場に「やぐら」を建設したらどうかと企画が進み、同ライオンズクラブも助成金を送り建設に協力した。完成を記念する同日の大会には小学生ら85人の少年力士が参加した。取り組み開始前には安全を祈願する神事が行われ、同クラブメンバー



新装の土俵で小系少年たち闘志燃やす

の宮司石井昭平が祈祷を担当、土俵を清めた。続いて行われた大会は地域住民も参加して終始盛り上がり、声援がしきりに飛ぶ。土俵の周囲は、負けて土俵下で泣く子、勝ってハイタッチする豆力士、土俵際で手を合わせ我が子の勝利を祈る母親もいて、参加者の相撲にかける真剣な姿に、大会関係者は喜んでいた。

I.岡村 喜良(クラブ幹事)

## ふれあい植園まつり

茂原(10R・1Z)

L鶴岡 哲夫(幹事)

茂原ライオンズクラブ(井上哲朗会長)が、アクティビティの一環として続けている恒例の第7回『ふれあ



養護施設の子供たち招き「ふれあい柿園」にぎわう



もちつき風景

い柿園」が、このほど茂原市で開催され、深まり行く秋と共に色づき、たわわに実った柿園に同市内の小・中学校の子どもたち、長生郡内の養護施設の

障害を持つ子どもたちとその保護者ら多数を招待してにぎやかに開催され喜ばれた。

会場では柿取りや餅つき、数々のアトラクションもあつて招待者共々、またホスト役の同クラブメンバーらと一日を楽しく交流、紅葉に変身していく自然の美しさを眺めながら、時間の経つのも忘れ、愉快に楽しい秋の一日を過ごしてもらった。

この事業は7年前メンバーの先輩、深山一夫氏の企画で始まった。地元地主の石井氏の協力で柿園を借り受けてクラブが管理、'00年11月から年1回のクラブの行事として定着したもので、毎年季節が近付くとこの行事の開催が各方面から待たれるようになった。

各関係機関、ボランティアなど多くの協力と支えがあつて実現しているもので、今後もこのアクティビティは継続される。

## 優勝旗5本の 42年続く 青少年剣道大会

銚子(7R・1Z)

江戸豊彦

銚子市の銚子剣友会・東総学校剣道連盟主催の『第42回青少年健全育



選手ら652人の剣道大会「優勝旗5旗戦」開く



大会関係者霜ガバナーを囲んで42年目の伝統語る

成剣道大会」(銚子ライオンズクラブ「小林康郎・会長」後援)が9月24日、同市体育館に小中高校の剣道選手83チーム、選手役員総勢652人が参加して盛大に開催された。

歴史のある同大会は、発足時から地元ライオンズクラブが深く関わっていたことで、通称「銚子ライオンズクラブ優勝旗争奪戦」、また、学校種別など5部門の優勝者ごと優勝旗が贈られるので「5旗の優勝旗戦」「ライオンズ大会」ともいわれる。これはライオンズクラブが、古くからいかに同大会支援に力点をおいてきたことが自慢できる。

県内最大規模といわれる同大会に

は、333-C地区の霜礼次郎ガバナーが駆けつけ、選手に激励の言葉を贈った。この歴史と伝統のある大会を基軸に、今後さらに青少年健全育成の発展を期待したい。

## 従藍而青 親子ライオン

地区4R-1T委員

L 木全純

両親から名を授かり、早23年が経つ。毎日のように報恩感謝という言葉聞いて育った私が、奉仕活動に汗する事は自然の流れだったのかも知れない。中学時代のことである。頑なに自分の信念を貫く私を世間は酷評した。

理不尽な教師に自ら抗議文書を叩き付けた事は生意氣と評され、また不自然に老成した子供と見られてしまう結果となった。当然の事ながら、両親は一人息子の私に期待以上の不安を抱く事となる。私の原動力は若さ故の理不尽への反発である。

ならば、自ら行動し、正しき道を突き進む同志と共に歩んでいくことが私の導き出した答えである。私が自らライオンズクラブへ入会を決意した事は、私の人生においての答えの1つに

他ならない。こんな未熟である私に対し、諸先輩からの厳しくも温かいご指導を賜り、私は大変に幸せ者である。この場をお借りして、偉大なる先輩方に感謝を申し上げます。

昨年、秋、親不孝者の私が父親を



父親をスポンスして親子ライオン

ライオンズクラブへ誘った事は、私にとつては自然の流れであった。子供が父親をスポンサーするという見慣れぬ不自然な光景に奇異な印象を持たれた方も多くいらつしやると思うが、ライオンズクラブにとつて、いつしかそれも自然な光景となる事を切に願う者である。

「青は藍より出でて、藍より青し」  
そうならんがために、我は征く。

船橋(4R-1Z)

### 333-C地区キャビネット情報板

#### ★年次大会委員会

お知らせ第2弾

## MAKUHARI 2007

### 後藤隆一国際理事壮行年次大会

年次大会と前夜祭のご案内を送りました。同封の申込書によりお申し込み下さい。(1月31日まで)

とき 2007年4月29日(日)

ところ 幕張メッセ国際会議場

登録料 会員・LS ¥3,000 LEO 無料

代議員会	登録受付	8:40 ~ 9:10
	代議員総会 ①	9:10 ~ 10:00
	分科会・フォーラム	10:10 ~ 11:40
	代議員総会 ②	11:50 ~ 12:10
大会式典	登録受付	11:30 ~ 12:30
	開場(上映・演奏)	12:30
	大会式典	13:00 ~ 15:00

◆火縄銃中島流砲術演武◆ 12時頃の予定  
中島流砲術研究会(霜会長)による火縄銃砲術演武が屋外コンコースで行われます。早めにお食事をして式典の開場(12:30)までお楽しみください。

◆ACT映像上映とブラスバンド演奏◆  
12:30から会場に入場できます。ACT上映や音楽の演奏でオープニングまで飽きさせません。

#### ★クラブアクティビティ写真募集!!

今年度各クラブが行ったアクティビティの写真を募集します。クラブPRのためにも奮ってご応募ください。大会当日開場後に上映される映像のソースや、式典のアワードを演出する映像に使わせて頂きます。

※詳細はキャビネットからの文書をご参照願います。

登録が始まりました。お早めに登録を!!

### シカゴ国際大会に代議員を送り 後藤国際理事就任を共に祝おう!

2007.7.2~6 アメリカ・イリノイ州・シカゴ

第90回国際大会で、後藤隆一国際理事誕生のため地区全クラブの代議員は投票を!そして私たちの地区初の国際理事誕生のひとときを大勢の方と共有しましょう。

#### LEO地区合同海外研修会

カンボジア  
4泊5日

平成19年2月10日(土)~14日(水)

- ①2/10 成田→バンコク→プノンペン
- ②2/11 中学校落成式 プノンペン市内観光
- ③2/12 プノンペン→シェムリアップ アンコールワット観光
- ④2/13 シェムリアップ半日視察 アンコールワット遺跡群観光  
シェムリアップ→バンコク
- ⑤2/14 バンコク→成田



EXT

県内129番目の第1号

# 千葉東ライオンが誕生

## 親クラブは千葉ライオンズクラブ

333-C地区が、霜礼次郎ガバナー体制になって初の「千葉東ライオンズクラブ（佐渡忠継会長、会員23人）が、千葉ライオンズクラブ（甲田孝彦会長）のスポンサーで結成され、11月22日千葉市内のオークラ千葉ホテルに関係者が参加して喜びの結成式を挙げた。



甲田孝彦会長から万国旗を受ける佐渡忠継新会長

同日は例会日に当たる千葉ライオンズクラブのフルメンバーも参加。定刻例会開始による諸報告に続き、岡野正義・クラブEXT委員長が「陰に陽に亘る関係者の努力が実り、地

区129番目のクラブが誕生できました」と今年5月以来、東

奔西走で駆け巡った努力の経過をリアルに報告した。このあと霜ガバナー立会いによる結成申請書署名、ガイディングライオン委嘱、新クラブ員紹介・新クラブへ国旗・例会旗贈呈の後、続いて甲田会長がクラブ旗・万国旗をそれぞれ、佐渡新クラブ会長に手渡し贈った。最後に新クラブ員全員が指揮台の前に整列、声高らかに「ライオンズの誓い」を斉唱した。



霜ガバナーからクラブ旗と国旗の贈呈

そのままの会場で引き続き、新生千葉東ライオンズクラブ結成会第1回例会に移り、佐渡新会長は緊張しながらも晴れ晴れとした表情で、ゴングの打ち初めを行った。クラブ役員などを決めた佐渡新会長は「ライオンズの奉仕に一刻も早く近付き、諸先輩のご期待に添えるよう努力します」と決意を述べた。

が代表して祝宴のあいさつ）仲間が増えたことで、参加者の表情は誰もが明るく、大原保人（千葉LC）のピアノ演奏、松島亨（同）のデザイナート造り実演の「妙技」を堪能しながら、新クラブの門出を祝った。



「ライオンズの誓い」をする千葉東ライオンズクラブ

初の手賀沼トリアスロン  
力走するスィム・バイク・ラン  
51.5k

柏沼南(3R・2Z)

L鹿間憲一

利根川流水の投入で浄化が進む、柏市と我孫子市にまたがる広大な手賀沼と、手賀沼ふれあい自然緑道などを会場にした『第1回手賀沼トラ



懸命に走る手賀沼トリアスロン

イアスロン大会』（手賀沼トリアスロン大会実行委員会主催・柏沼南ライオンズクラブなど協力）が8月27日、手賀沼大橋「道の駅・しようなん」付近スタートで行われた。

スィム1・5キロ、バイク40キロ、ラン10キロ計51・5キロで、参加者は予想を上回る300人を超え、盛大に行われた。

手賀沼浄化作戦で、長年に亘り水質汚濁「ワースト1」の汚名を返上し、蘇りつつある手賀沼をうれしく、誇りに思いたい。柏沼南ライオンズクラブは手賀沼エコマラソン、3Rメンバーとの合同アクティビティーで水辺のクリーン作戦も展開している。

祝福されて

# CN 周年行事で新たな誓い

## 木更津中央40年・千葉ゆうきの10年

### 木更津中央(8R・1乙)



台湾から姉妹クラブを迎えてCN40周年

「車椅子移動送迎」を、贈呈いたしました。

懇親会は、地元木更津総合高等学校和太鼓クラブの皆さんの、力強い太鼓の音と共に鏡が開かれ、心地よい演奏を楽しんでいた。続いて木更津ヨサコイ、そうらん連の皆さんのエネルギー溢る躍動感あふれる踊りで、華を添えて頂きました。

この節目の年に「オンリーワン・ナンバーワン、奉仕の心は日本から」と、「地域との交流による奉仕の心の確立」をスローガンに会員一同、50周年に向け精進して参りたいと存じます。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 千葉ゆき(1957・22)

創立10周年を迎えた千葉ゆうきのライオンズクラブ(石毛直美会長、会員23人)の「CN10周年記念例会」(佐々木美智子実行委員長)が9月30日、千葉市内のホテルグリーンタワー・千葉に、友好団体の国際ソロ

した。

今回の記念事業として木更津市に

チミストアアメリカ日本東リジョン千葉の金木美津江会長を始め、ライオンズクラブ国際協会333-C地区の霜礼次郎・ガバナーら地区役員、地区ブラザー20クラブなどから2000人を超える会員が参加して盛大に開かれた。



全メンバーのコーラスで盛り上げる千葉ゆうきのCN10周年

あいさつの中で石毛会長は、「はじめの5年間は基礎作り、あとの5年で『ゆうきの』らしさを作り上げた。今後、何が出来るとかに気付ける柔らかな活動に精進したい。さらにご支援をお願いします」と述べた。祝辞の中で霜ガバナーは、「貴クラブは、ロス国際会長方針の『ヴィーサーブ』そのものの奉仕活動実践の上に、今度は周年事業でカンボジアに中学校を建設される事を誇りに思います」と称えた。

御園生億久江前会長が発表した記念事業は、▽LCIF CSF II (視力ファーストII) 500ドル献金(会員23人全員)。▽千葉県ライオンズクラブカンボジア支援プロジェクト、カンボジア王国コンポンチュナン州チレス地区チユムタイプソク中学校校舎建設。▽社会福祉法人千葉いのちの電話。以上合わせて507万6000円を寄付するもので、これら資金は石毛会長から関係者代表に贈られた。

続いて佐々木美智子・CN10周年実行委員長が「お礼の言葉」を述べた。祝宴の第2部のアトラクションは、同クラブ会員でメソソプラノのブ口声楽家、橋爪雅子さんによるオンステージ。「輝ける 未来へ」でオーブ

県内128クラブ中、会員が女性だけの5クラブのうちの1つだが、アクティビティの熱心さは他クラブに感動を与えている。1996年、千葉県ライオンズクラブのスポンサーで県内111番目に誕生したクラブ。第11代の石毛直美会長が開会コングレ、続いて花岡通子幹事が会場を埋めた地区来賓、ブラザークラブら参加者全員を丁寧に紹介した。

木更津中央ライオンズクラブ(山村憲一・会長)が創設40周年を迎え、11月11日木更津市民会館中ホールで『CN40周年記念合同例会』を開催しました。来賓に水越勇雄・木更津市長・中村昌成・県議会議員、渡辺芳邦・同らのご出席を頂き、また、333-C地区霜ガバナーを始め地区役員・スポンサークラブ、姉妹クラブの台湾高雄市中央国際獅子会・新潟三条中央ライオンズクラブ・ブラザークラブの皆様方、多数のご出席を頂きま

ニング、名曲の数々を堪能した。  
ディナータイムに入る前、石毛会長は10人の歴代会長にそれぞれ花束を贈って表彰、女性だけのクラブならではの心遣いを見せるなど、和やかな会員同士の交流が続いた。

## 国際理事候補者認知に感謝 シカゴ国際大会投票にご協力を

― 後藤 隆一  
柏中央(SR・ZN)

先般ベナンにて開催された第45回OSEALフォーラムに際しましては、多くの皆様にお世話になり有難うございました。フォーラム中の11月3日夜に開かれたコーカス会議にて、335複合地区の重松良次と不肖私が、東洋東南アジア会則地域からの国際理事候補者として正式に認知され、その旨記載された



マレーシア・ベナンの複合地区激励会であいさつする後藤隆一国際理事候補

フォーラム決議書も議長・ガバナー会議にて採択されました。この後は来年7月のシカゴ国際大会最終日に代議員の投票に付され、その結果により選出されることとなります。引き続き、各位のご支持方頂戴できませうようお願い申し上げます。

11月5日にはシティーテルホテルにて、ジャパニレセプションが開催され、国際会長及び第1・第2副会長、そしてOSEAL地域内の各国

## EXITは奉仕を広げる 次世代二世でクラブ結成を

地区EXIT委員長 高木 正平(市川恵)

今期、EXIT委員長を拝命した高木です。1年間宜しくご指導賜りますよう、お願い申し上げます。会員の増強は言うまでもなくライオンズの奉仕活動が強化されることを意味しています。ライオンズの奉仕は本来、自らの力を最大限発揮し、他者の生活を改善したいという心からの願いに基づいています。

国際協会では数年にわたり、会員増強の重要性を繰り返し強調し続けています。ジミー・ロス国際会長も「我々は奉仕する」というプログラムハイライト7つの中で、新クラブを結成して

より多くの同志ライオン、参加をしてくださいました。韓国、台湾、フィリピン、タイ、香港、シンガポールそしてマレーシア等々のメンバー各位からも有難い激励の言葉を頂戴いたしました。勿論、所属地区である333-C地区の参加者が最多であり、大変心強く有難い激励のお言葉を頂きました。心よりの感謝を申し上げます。そして、今後とも宜しくお願いいたします。



新クラブの誕生を呼びかける高木正平委員長

す。地区ガバナー、副地区ガバナーがMERL委員会を支援し、集中的に会

員増強の推進に取り組んで来たのもそのためです。

今期、霜礼次郎ガバナーが「オンリーワンナンバーワン、奉仕の心は日本から」を掲げ、ITを駆使し世界各国へ発信できる新しいライオンズムのクラブ誕生に頑張ろうと表明しています。新たな会員を招請して成功を分かち合うこと、正クラブ、学内クラブ、クラブ支部など問わず、新しいクラブを結成することは明らかに会員の増強につながります。特に私は1つの提言として、次世代を担う二世による新しいライオンズクラブの結成を、ゾーンに1つ、地区に23お願ひしていきたいと思っています。同時に退会防止で会員の維持を強化しなければならぬことは当然であります。そのためには年間を通じて会員1人ひとりが、自分自身の質向上に努めることが、その達成に繋がるものと思っています。

地区ガバナーは、ライオンズムスピリットは報恩感謝の気持ちに通じると理解しているといっています。目的達成のためには地区クラブメンバー3680名全ての理解と協力が欠かせません。しかし私が一番頼りにしているのはクラブで、グットスタンディングな会員として活躍されている地区構

成員の皆様ご自身のお力です。地区構成員には各正副委員長、RC、ZCを含め133名のライオンがおられます。ゾーンに1つ23クラブ、1クラブ20名として460名、その約30%がキャビネット構成員です。

その皆様が先導役として、クラブで協力と支持を前向きに発言し行動していただければその効果は絶大で、目標達成を約束されたのも同然です。十人十色といえますからいろいろな意見があることと存じます。しかしライオンズクラブ国際協会は世界に1つです。その方針も1つです。協会からチャーターを受けたライオンズクラブは、国際協会の会則付則を批准してそれに従うことを条件に運営されています。その辺もご理解していただき、是非、次世代を担う二世の新しいEXXT誕生にご協力下さるようお願い申し上げます。

## ポストン紀行 国際大会に随行して

聖徳大学付属中学校 1年  
諏佐美蘭

とても楽しい1週間でした。  
ライオンズクラブ国際協会第89回

国際大会に母と参加するため、アメリカのポストンに行きました。世界100か国以上から1万4千人の人们が参加しました。日本人は約千人もの人たちが参加しましたが、まわりを見るときももちろん大人ばかりです。中学生は私だけだったようです。こんな貴重な体験ができたことは、とても嬉しいです。



ポストン国際パレードで外国人から次々に写真を撮られる諏佐美蘭さん

先ず1日目は、パレードに参加しました。日本から用意した浴衣を着て、お揃いの日傘を持ち、ポストンのメイ・ストリートを約1・1キロメートルを歩きました。沿道から市民の声援がとてにぎやかでした。最初ははずかしかったけど、まわりの「JAPPA

N!」という声援がとても嬉しかったです。そして、私も日本の代表なんだと感じ、がんばろうと思い、声援に応え、笑顔で手を振り、行進しました。

緊張したので、とても疲れましたが、お天気も良く、ポストンの町並みがとても素敵だったので楽しかったです。記念に各国の人たちと記念写真をたくさん撮りました。日本の浴衣は世界

の中でも人気があるようで何回も記念写真を頼まれました。  
2日目は、開会式に参加しました。

各国のライオンズメンバーがお揃いのユニフォームを着て参加しておりました。開会式では、ライオンズクラブの歴史や活動を知ることができました。「ヘレン・ケラー」の提案で、ライオンズクラブが協力して「世界の失明撲滅運動」を始めたことを知りました。とても驚きました。本でしか知ることのなかった「ヘレン・ケラー」が近くに感じる事ができました。そのほかにもたくさんさんのボランティア活動をしていることも知りました。世界のたくさんの人たちが同じ気持ちになつて世界を守っていくことを知りました。こんなふうに優しい気持ちでいたならば、戦争はなくなると思いました。  
観光で、ナイアガラに行きました。

カナダに入国しました。バスで国境を越えたのが、うれしかったです。目の前の自然の大きさにびっくりしました。霧の乙女号に乗り、滝のしぶきでビショビショになりました。船の2階の1番前でたくさん浴びました。ボンチヨが役に立ちませんでした。みんなもビショビショになつて大喜びでした。

4日目、閉会式も参加しました。午後ニューヨークに移動しました。2日間のニューヨークでは、市内観光をしました。「グランドゼロ」、「国連本部」、そして船に乗り「自由の女神」、夜の「ブロードウェイ」での「美女と野獣」、みんなすごかったです。自分の目で見ることができて感動しました。そして世界の大きさを感じました。「自由の女神」の前で撮った写真は宝物です。幸せです！

初めての1週間はあつという間でした。今回、千葉県のライオンズクラブのメンバーの人たちと母と一緒に参加できた、とても楽しい1週間でした。ありがとうございました。一生懸命たくさんさんの事を勉強して、自分の得意な事を見つけて、目標を持って頑張れる大人になりたいと思いました。こんな貴重な勉強ができて、嬉しかったです。

です。

☆美蘭さんは、千葉ライオンズクラブ(5R・1Z)メンバー諏佐愛蘭さんの娘さんと国際大会に母娘一緒に参加、「ポストン紀行」を寄せてくれました(編集室)。

# マレーシアのクラブと交流 山中に少数民族訪ねる

「日本の後藤応援します」と現地ライオンズクラブ

大網白里(10R・2Z) YE委員 L角河博文

井深敏和・ZCを先頭に、石橋捷洋前町長ら16人が参加し、11月2日出発翌日早速クアラランプールより車で5時間の山間部のごく少数民族の

東洋東南アジア  
アフオーラムが開かれるのを機会に、3331C地区10Rの大網白里ライオンズクラブが中心となり、かねてから交流のあった308B1地区のラウブライオンズクラブと交流プロジェクトを計画しました。

君塚庄一・R  
C、佐藤昌巳・  
PR情報委員

オラン・スリ村を訪問、でこぼこ道を延々と走り高床式の村落に到着しましたが、なにしろ子どもの多いのに驚きました。

村長が出迎えてくれましたが、子どもたちはみんな素足で学校にも行かず、広場に200人位が集まり、お菓子や玩具、衣類など寄贈したうえ、手品を披露すると大喜びで、拍手喝采を浴びました。

大人の姿が見えないので聞いて見ると、山に狩猟に行っているのと、近くの土地は荒れて畑や田は見

えませんでした。そして、均寿命が38歳と短命で、ライオンズクラブの医者のメンバーが、定期検診しているそうです。

ラウブに戻り、13年前同行の錦織良治が会長時に慰問した老人院を今回も訪問したところ、地元の新聞記者が待ち受けて写真撮影が始まり、小学校の交流と一緒に翌日の新聞記事になりました。

この小学校は5年前は偏差値が低く、地域の評判の悪い学校でしたが、ラウブライオンズクラブとプロジェクト

クトを組み生徒と交流の中で現在、地域NO1になっているそうで、校長先生も大変に喜んでいました。

フォーラム開催のペナンまで、ジャングルの峠を越えて8時間の大変な道でのりでしたが、333地区複合パーテイが始まっている会場に何とか間に合い、ラウブライオンズクラブの後藤隆一国際理事候補の応援横断垂れ幕のパフォーマンスが、会場を沸かせることができ、今回マレーシア訪問の旅は3331C地区10Rとして大成功でした。



マレーシア山中の少数民族村の交流風景

「世界」と自負するクレイジー・ドクター

霜礼次郎 ナーガバと火縄銃

『病を診ずして人を診よ』。母校

の慈恵医科大学 高木兼寛教授の遺訓が大好きな整形外科医だ。火縄銃の魅力に取り付かれ、日本固有の火縄銃文化を伝える第一人者の収集家でもある。先祖が室町時代嘉吉1年(1441年)の、霜六太夫元則に始まる武家の系譜で565年続く旧家。慈恵医大を卒業した72年、家業を継ぐため、亡父一男さん経営の産婦人科医院に併設する形で、整形外科医院を開業して33年になる。

大学時代は将来の指導者を目指し、懸命に剣道を打ち込んだ。だが開業から半年経ったとき突然の不幸が襲つ



ボストンに向け出発前に成田空港で

た。大学仲間のOB戦中、剣道続行には致命的な左足アキレス腱の断裂34歳の時だった。

体力的に無理のないスポーツ「射撃」への転身を決意したのはこのときだった。患者の診察を続けながら県営



正装で火縄銃を構える2R・1、2Z公式訪問

五輪ボイコットで出場は「幻」のオリンピックとなり果たせなかったが、経験浅くして五輪代表選手に選ばれたのは、前年の79年全日本クレイ射撃選手権大会における実力で、200点満点中195点の日本新記録で初優勝し、「オンリーワン・ナンバーワン」の五輪出場権を獲得したのだった。

以来ドクターの立場から、射撃にメンタルトレーニングの理論を駆使、ロサンゼルス、ソウル五輪では射撃

のチームドクター、バールセロナ大会では射撃の監督を務めた。火縄銃と出会ったのはスウェーデンに留学中の69年。ヨ

射撃場のある市原市古敷谷の山中に練習に通った。射撃を開始以来4年後の41歳の時つかなだ「日本」の栄光は80年のモスクワオリンピック・クレイ射撃の日本代表選手に選ばれたのだ。しかしこのオリンピックは、日本側のモスクワ

ロッパ各国の博物館に日本の火縄銃が陳列されていて、このとき「黒い銃身が渋い光りを放つ存在感の日本の文化を正当に評価して欲しい」と考えたのだ。この魅力に取り付かれて集めた火縄銃は70丁余り。396丁前の慶長

15年(1610年)作もある。1部は千葉市立郷土博物館に常設展示され一般公開されている。そして火縄銃



ジミー・ロス国際会長と霜ガバナー夫妻

を実際に発射するチュリヒの世界前装銃射撃選手権大会にも、笠と袴姿の盛装で出場し6位入賞を果たした。火縄銃のルーツは463年前の1543年(天文12年)、ポルトガル船で種子島を経由し戦国時代日本に持ち込まれ、全国各地で生産された。火縄銃の生産は、ネジやバネ製造の日本の工業発展にも大きく貢献したと伝えられる。射撃は55歳で引退、休診日に祐子夫人と県内各地のコースを回り、ゴルフを楽しみながらドクターの立場から、生涯スポーツの大切さを訴えている。

# 元地区ガバナーが思い出さ語る

## 3つのC・7つの課題にチャレンジ

7・7・7（平成7年7月7日）、ソウルにおいてワンダー国際会長より333-C地区ガバナーに任命されました。21世紀を見つめ「響かそう世界へライオンズの鐘」をスローガンにキーワードを3つのC、クリエイト（創造）チェンジ（変革）チャレンジ（挑戦）とし「明日のために今日行動しよう」と7つの課題にチャレンジするよう目標を掲げました。



L 林 静 誠

- 1 地区ライオンズ憲章へのチャレンジ
- 2 会員増強へのチャレンジ
- 3 青少年健全育成へのチャレンジ
- 4 青少年健全育成基金設立へのチャレンジ
- 5 障害教育へのチャレンジ
- 6 献血、献眼へのチャレンジ
- 7 国際交流と国際大会へのチャレンジ

この結果、4つの新クラブが結成さ

れ、96年1月には4700人にまで会員が増強されました。特に青少年健全育成活動では、各クラブが積極的に取り組み、4つのレオクラブ結成、そして333-Cレオ地区の結成、Y・E・レオサマーキャンプの実施、青年が自分の責任で考え行動したフロンティア・アドベンチャープログラム、青少年健全育成活動の事業を推進するための育成基金活動にはクラブ、個人で4400万円に及ぶ崇高な資金が提供される等々、多くの実績をのこしました。

紙面の関係で紹介できませんが、こ

の外にも各クラブでは、<sup>1</sup>かしい実績を残しました。これに各クラブ3役を中心に7つの課題へのチャレンジ、内局員を始めキャビネット構成員の活躍には深く深く感謝と敬意を捧げるものです。



盛り上がった第42回年次大会

### あとがき

船出したばかりの思いの、霜札次郎地区ガバナー体制は折り返し地点を過ぎた。本誌第2号はマレーシア・ペナン島の東洋、東南アジア・フォーラムにおけるジミー・ロス国際会長の「奉仕する」、後藤隆一元地区ガバナーの国際理事擁立の意気込み。地区129番目の「千葉東LC」が結成された。地域がライオンズを理解する贈呈誌を増刷、あと半年の「会員増強」「EXT」にと追込み戦に健闘を。未掲載の資料・原稿は第3号に先送りした。ご容赦を切に。

（地区PR・情報委員長 両川邦男）

### 題字 出会い

ひとと人の交わりの中で、「出会い」を大切にされる霜ガバナーの持論をそのまま誌名として命名し、高校同窓でもある国際女流書道家の飯高和子（市原「スモウ」が揮毫した。市原市美術会会長でもある元県立姉崎高校教諭で市原市教育委員でもあった飯高ライオンは、勤めた先々の高校の生徒競書で、書道日本一を樹立。書を通じた日中友好で訪中は40回を越え、中国・四川省に独自でレング造りの学校を寄付、中国要人の交流が続いている。

病院理念 ～ 人に尽くし、研鑽を積み、信頼と喜びを明日へ ～



医療法人 社団  
普 照 会

# 井上記念病院

(財) 日本病院医療機能評価機構 病院機能評価認定  
(社) 日本病院協会、日本人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価認定

各種保険適用 / 日本病院会人間ドック指定病院 / 救急告示病院

- 病床数 / 176床 (一般病床 125床・医療療養病床 51床)
- 診療科目 / 内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科
- 専門外来 / 血液・循環器・糖尿病・高脂質血症・消化器・呼吸器・神経内科・生活習慣病など
- 併 設 / 井上記念訪問看護ステーション「ライフパートナー」(居宅介護支援事業所) 健康管理センター



〒260-0027 千葉市中央区新田町1-16  
TEL 043-245-8800  
FAX 043-244-6200  
URL <http://www.inouemh.or.jp>

院長 花岡 和明

地上8階、地下1階  
(平成6年9月竣工)



## 生活習慣病の改善! 健食、異例の特許取得!

糖尿病、高血圧、ガン抑制、慢性肝炎、慢性胃腸カタル、便秘、高脂血症、前立腺肥大症、アレルギー、リュウマチ、各種梗塞血栓等の血流促進作用  
糖尿病などの生活習慣病や、現代医学では完治の難しい病気が治った!

# 薬では治らなかつた 糖尿病が治った

●「桑葉×青梅(梅仁・梅肉)×赤紫蘇」奇跡の食効  
(相乗効果3倍6倍)

- ▼ 病気を克服した方々の喜びの声!
- ▼ 長年続いた高血圧が、わずか1ヶ月で改善
- ▼ 合併症で視力を失いかけた糖尿病が回復
- ▼ 血糖、コレステロール、中性脂肪、タンパク、尿酸……糖尿病予備軍から健康体へ
- ▼ 医師が「もう大丈夫」と太鼓判。慢性肝炎も回復
- ▼ 治療の副作用でボロボロの身体がすっかり元気に(本文「体験談」より)

### 「健祥桑梅品」体験談

★ 著者自らが様々な症状と糖尿病による闘病生活を克服していく過程で出会った天然自然の植物(桑、梅、紫蘇)に秘められた素晴らしいパワー!!

特許取得 薬では治らなかつた  
糖尿病が治った!

健祥桑梅品

亀山祥之 著  
丸山博巳 監修

桑葉×青梅(梅仁・梅肉)×赤紫蘇  
の驚異的な相乗効果!!

商品は左記のフリーダイヤルまで  
0120.104.981  
■ 四六判並製・296頁  
本体価格1260円(税込)

お求めは最寄りの書店で……店頭がない場合やお急ぎの方は直接下記までご注文下さい。送料、振込料は無料  
〒134-0085 東京都江戸川区南葛西4-11-3 亀山祥之 TEL 03-3675-8778

(株)いしずえ図書出版部 〒112-0014 東京都文京区関口1-15-1 ミサオビル4F